

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（「国語3」三省堂） ・ワークブック（「国語の学習3」明治図書） ・ワークブック（「学習漢字ノート3」浜島書店） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークブック（「楽しい文法」とうほう） ・資料集（「国語便覧」浜島書店） ・入試用問題集
------	--	---

【指導の重点】

- ・国語を正確に理解し、適切に表現する能力を育てる。
- ・想像力や思考力を養い、言語感覚を豊かにする。
- ・国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。
- ・話す・聞く分野と書く分野の効果的学習方法を工夫する。
- ・図書館を効果的に活用し、読書の充実を図る。
- ・ICT活用を積極的に行う。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」と言わない重さ ・岩が ・文法（助動詞） ・握手 ・辞書の語釈 ・四字熟語 ・間の文化 ・俳句の世界 ・俳句十句 ・和語・漢語・外来語 ・「批判的に読む」とは・少年の主張 ・希望（随筆） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、自分の意見を持つ。 ・詩に込められた作者の思いをとらえ、自分の意見を持つ。 ・助動詞のはたらきについて理解し、正しい日本語を使うようになる。 ・小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価する。 ・辞書の語釈について理解し、語彙を豊かにする。 ・四字熟語について、理解を深める。 ・文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する。 ・俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 ・語句に注意して、情景を豊かに想像し、俳句を詠み味わう。 ・和語・漢語・外来語の定義、混種語について理解する。 ・自分の考えをまとめ、筋道の通った文章を書く。 ・話題とそれに対する筆者の見方に着目して、内容を具体的に読みとり、筆者の思いを捉える。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・フロン規制の物語 ・慣用句・ことわざ・故事成語 ・和歌の世界 ・おくのほそ道 ・情報を関連づける ・文法のまとめ ・論語 ・初恋 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に表れているものの見方や考え方を捉える。文章を批判的に読み、自分の考えを広げる。 ・慣用句・ことわざ・故事成語について、意味や由来を理解する。 ・和歌が詠まれた情景や信条を読み取る。和歌の形式や表現の特徴を捉え、その効果について理解する。心情を読み取る。 ・歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える。 ・情報と情報との関係に注意しながら、互いの発言を生かして話し合う。情報の信頼性を確かめ、情報を活用し、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・これまで学習した文法事項を、総合して活用する。 ・漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。 ・表現の特徴とその効果を捉え、作品を味わう。

	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に配慮した言葉遣い ・故郷 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語のさまざまなはたらきについて理解する。 ・登場人物の言動や関係を捉え、作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「文殊の知恵」の時代 ・坊ちゃん ・さくら（独唱） ・入試対策授業 ・詩 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、これからの社会について考え、自分の意見をもつ。 ・言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意して読み、作品の特徴を評価する。 ・詩の内容を捉え、自身の琴線に触れる詩について紹介する。 ・高校入試に向けて、実践的な力をつける。 ・自分の思いを、文字や絵を使って表現する。

【評価対象】

- ・授業準備、学習態度、発表や作業の様子 等
(意欲的に学習に取り組む、自分の考えをまとめる、主体的に授業に参加している)
- ・提出物の状況（ノートやワーク、プリント、その他課題をきちんと完成させ、期日を守って提出している)
- ・定期テスト、漢字テスト、小テスト等

【学習アドバイス】

- ・忘れ物はせず、授業準備をしっかりとしておく。
- ・先生や仲間の意見をしっかりと聞き、よく考え、自分の考えをより豊かなものにする。
- ・積極的に発言、質問をする。
- ・重要な点や先生が強調した点は教科書やノート、ワークにチェックをしておく。
- ・ノート、ワーク、プリント類は丁寧に書き、プリントはその都度ノートに貼る。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい社会歴史」東京書籍 ・「よみとき総合歴史」浜島書店 ・「よくわかる社会の学習 歴史2・3」明治書籍 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい社会公民」東京書籍 ・「新しい公民」浜島書店 ・「公民の学習」新学社
------	--	---

【指導の重点】

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、グローバルな舞台で活躍する公民としての基礎的な資質を培う。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	【歴史的分野】 江戸時代の改革とペリー来航 欧米諸国の啓蒙思想と産業革命 明治維新と日本の近代化 帝国主義に突き進む日本と戦争	数々起こった革命の流れを理解する 欧州で起こった人権啓発が世界に広がり、変化していくようすを掴む 江戸と明治の大きな変化をとらえ、現代日本の基礎となった部分を考える 激変する世界のようにすと日本の殖産興業のつながりを知る
2	二度の世界大戦と世界の情勢 戦後の復興と高度経済成長期 国際社会における日本の役割 【公民的分野】 現代社会のしくみと特色 日本国憲法と政治制度 産業活動と生産のしくみ	二度の世界大戦が起こった背景とその後の世界を知る 日本が高度経済を成し遂げた理由を自分なりに考える 社会のしくみを知り、自分なりの展望を持つ 政治の基本的な制度を理解して選挙の素地を作る 商品とお金の流れと資本主義のしくみを知る
3	経済と財政、家計の関係 国際社会の様子と課題 持続可能な社会の実現に向けて 【受験対策】 地理、歴史を中心に復習 資料問題と記述問題への対策	税と社会保障、労働と家計について理解する 国際社会のようすと国際社会の課題について知る

【評価対象】

- ・定期テスト…主に知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する問題を出題する。テストまでにどれだけ反復練習したのか意欲を見る。
- ・ロイロノート、クラスルーム…資料を見ながら判断し、自分の言葉で表現する力を見る。
- ・授業ノート、学習ワーク…どれだけ意欲的に授業に向かい、理解を深めようとするのか判断する。

【学習アドバイス】

- ・授業中に話を聞く…話を聞くことで理解が深まり、自分の考えを持つことが出来ます。
- ・ノートを工夫する…ノートにメモを取る、余白を活用するなど工夫しましょう。しかしノートばかりに気を取られているのはよくありません。
- ・ノートを見直す…ノートは教科書や授業の要点がまとめられたものです。まずはノートを見直すことが学習の始まり。
- ・ワークを繰り返しやる…反復は学習の基本です。社会科の知識・技能が主に身に付きます。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（「これからの数学3」数研出版） ・ワーク（「数学の学習ノート3年」正進社） ・サマワーク（「なつとモ」明治図書） ・入試対策（「問1問題集」教育新社）
------	---

【指導の重点】

- ・数学に対する意欲関心を高め、基礎的な知識・技能を身に付けさせるとともに、数学的な思考力、推理力、論理性を養う。
- ・ICTを活用することで、多角的に事象を見る力を養う。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	1章 式の計算	文字を使った計算ができる。
	2章 平方根	因数分解ができる。 文字を使って問題を解くことができる。 平方根の意味が分かる。 有理数、無理数が分かる。 平方根を使って計算ができる。
	3章 2次方程式	2次方程式を解くことができる。 2次方程式を利用して問題を解くことができる。
2	4章 関数 $y = ax^2$	関数 $y = ax^2$ の特徴が分かる。 関数 $y = ax^2$ のグラフをかくことができる。 身の回りを事象を関数としてとらえることができる。
	5章 相似	相似の図形が分かる。 相似の考え方をを使って長さや角を求めることができる。 相似の考え方をを使って面積や体積を求めることができる。
	6章 円	円周角と中心角の関係が分かる。 円の性質を使って問題を解くことができる。
3	7章 三平方の定理	三平方の定理が理解できる。 三平方の定理を使って問題を解くことができる。
	8章 標本調査	標本調査と全数調査の意味が分かる。 標本調査を利用して全体を推測することができる。

【評価対象】

- ①授業準備、授業内容に取り組む様子(意欲的に学習に取り組む, 自分の考えをまとめる, 主体的に授業に参加している)
- ②提出物の状況 (ノートやワーク、その他課題をきちんと完成させ、期日を守って提出している)
- ③定期テスト、課題テスト等

【学習アドバイス】

- ①忘れ物はせず、授業準備をしっかりとしておく。
- ②授業では積極的に学習内容に取り組む。
- ③ノートやプリント整理等、丁寧に取り組む。
- ④提出物は完成させて期日を守って出す。
- ⑤短時間でもよいので、習ったことは早めに復習をして理解を深める。
- ⑥分からないことはそのままにせず、先生に質問するなど解決できるように努力する。
- ⑦やり直しはその都度丁寧にやる。

使用教材	・教科書(「未来へひろがるサイエンス3」啓林館) ・資料集(「最新理科便覧」浜島書店) ・ワーク(「理科の自主学习」新学社)	・夏休みのワーク (「夏トレ理科3年」廣済堂あかつき株式会社) ・3学期のワーク(「リハーサル理科 単元8回」浜島書店)
------	--	--

【指導の重点】

身のまわりで起こる自然事象に主体的に関わり、目的意識を持って 観察、実験などを行うことやICTを活用することを通して、物事を科学的に探究する力を育てる。また、自然事象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	生命の連続性 生物のふえ方と成長 遺伝の規則性と遺伝子	生物や細胞のふえ方を知り、その仕組みを理解する 親から子への特徴の伝わり方を知る 遺伝のしくみを、遺伝子に基づいて説明できるようにする
	生物の種類の多様性と進化	生物の共通性と多様性を知る 様々な証拠に基づいて、生物が進化してきたという考え方を理解する
	化学変化とイオン 水溶液とイオン	実験により、物質を電解質と非電解質に分けることができる 電解質水溶液に電流が流れた時の変化を調べ、その反応を知る イオンについて理解し、その記号を覚え、様々な電解質の電離式を書ける
	電池とイオン	イオン化傾向について探り、理解する ダニエル電池のしくみを調べ、その反応を理解する 日常で使われている様々な電池やその特徴について知る
2	酸・アルカリと塩	実験により、酸性とアルカリ性の水溶液の特徴を知る 酸性やアルカリ性の性質を決めているイオンについて調べ、つとめる 酸性とアルカリ性の強さをpHで表せる 中和反応について調べ、中和により水と塩ができることを理解する
	運動とエネルギー 力の合成と分解	浮力について調べ、その特徴を理解する 力の合成と分解を、作図等を利用して行うことができる
	物体の運動	物体の運動を、記録タイマーの記録を使って表すことができる 水平面上での物体の運動について調べ、その特徴を理解する 斜面上での物体の運動について調べ、その特徴を理解する
	仕事とエネルギー	物体間で作用し合う力を、作用・反作用の考えを使って説明できる 仕事量を計算することができる エネルギーの概念や仕事量との関係について理解する 位置エネルギーと運動エネルギーについて理解し、その移り変わりを説明できる
2	多様なエネルギーとその移り変わり	様々なエネルギーについて知る 様々なエネルギーが互いに変換し、その総量は保存されることを理解する 様々な熱の移動法について知る
	エネルギー資源とその利用	生活を支えているエネルギーについて考える エネルギーを利用する上での課題について考える エネルギーの有効利用の方法を探る

	宇宙を観る	地球から宇宙へ	地球・月・太陽について知る 太陽系の天体の特徴を知る 宇宙の広がりを知る
		太陽と恒星の動き	太陽の動きについて考え、その特徴をつかむ 星座の星の動きについて考え、その特徴をつかみ、そのしくみについて考察する
3	宇宙を観る	月と金星の動きと見え方	月の動きと見え方について考え、そのしくみを理解する 金星の動きと見え方について考え、そのしくみを理解する
	自然と人間	自然界のつり合い	生物どうしのつながりについて考え、生物同士の密接な関係性を理解する 生態系における生物の数量的関係について考え、そのバランスを理解する 食物連鎖における分解者の存在の大切さを理解する 生物活動を通じて地球上の物質が循環していることを理解する
		さまざまな物質の利用と人間	天然の物質と人工の物質についてそれぞれの特徴を知る 何種類かのプラスチックの特徴を知り、環境における影響を考察する
		科学技術の発展	科学技術の発展の歴史を知る 科学技術の利用と自分達の暮らしとの関係について考察する
		人間と環境	身近な自然環境の調査を行い、身の回りの環境について考える 自然が人間の生活におよぼす影響について考える 人間の活動が自然環境におよぼす影響について考え、現在・未来の地球環境を維持する大切さを学ぶ
		持続可能な社会をめざして	科学技術の発展と課題について考える これからの社会を担う自分達のあり方について考える
	受験のための実 力養成		受験対策の問題に取り組む

【評価対象】

- ・定期考査
- ・実験・観察レポートの提出状況およびその内容
- ・各種ワークの提出状況およびその内容
- ・各種ワークの提出状況およびその内容
- ・忘れ物の状況や授業に臨む態度など

【学習アドバイス】

- ・自分にあつた参考書、問題集を揃えておく。
- ・時間があれば、参考書を使った予習、授業、家に帰って問題集を使った復習と、同じ内容を複数回学ぶ機会を持つ。時間的に無理ならば、予習はさておき、家庭で復習する習慣は必ず身につけておいたほうが良い。
- ・授業での板書を記録するのはもちろん、自分でそれ以外に必要なことを書き留めるなど、自分のノートを工夫して作り上げると良い。
- ・提出物は必ず期限までに提出し、内容も漏れのないように、きちんと行うこと。
- ・授業を聞いてわからなかったことは放置せず、先生に質問するなどの対策をこまめに行う。
- ・テスト前にはテスト勉強の計画をたて、テストに間に合うように1週間前、2週間前から早めにテスト勉強に取り組む。
- ・覚えるべきことは覚え、理解すべきことは理解する。例えば、仕事量の計算式だけを覚えても意味がない。それを理解し使いこなせるように練習をしなければならない。
- ・不得意な分野だけを悲観するのではなく、得意分野で点を稼ぐなど、諦めずに最後まで頑張り通すことが大事。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の音楽（2・3年上、2・3年下） ・中学生の器楽 ・ワークブック（2・3年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダー ・ファイル ・MY SONG
------	--	--

【指導の重点】

- ・音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を育成する。
- ・音楽と生活とのかかわりに関心をもって生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育む。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	「花」（歌唱） 「早春賦」（歌唱） 「ふるさと」（器楽） 「ブルタバ（モルダウ）」（鑑賞） ～校内音楽会に向けて～ 課題曲・自由曲（歌唱）	歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫する。 歌詞に込められた気持ちや情景を想像しながら歌う。 基礎的な奏法を身に付け、美しい音色に注意しながら演奏する。 オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取る。 互いの声を聴き合い、各声部のバランスを工夫して歌う。
2	～校内音楽会に向けて～ 課題曲・自由曲（歌唱） 「星の世界」（器楽） 「早春賦」（歌唱） 「帰れソレントへ」（歌唱）	互いの声を聴き合い、各声部のバランスを工夫して歌う。 基礎的な奏法を身に付け、美しい音色に注意しながら演奏する。 歌詞に込められた気持ちや情景を想像しながら歌う。 調や速度の変化を生かして表現を工夫する。
3	「世界のポピュラー音楽」（鑑賞） ～卒業式に向けて～ 「旅立ちの日に」（歌唱）	世界各地の歌に触れ、音楽や声の特徴を味わう。 世界各地の楽器の演奏を味わう。 3年間のまとめとして豊かな歌唱表現に取り組む。

【評価対象】

- ①定期考査(楽曲の生まれた背景や詩の内容、作詞・作曲者、器楽、楽典についてなどの知識・理解を問う問題を出題する)
- ②実技テスト(大きな声で堂々と歌い、基本的な奏法等を身につける)
- ③振り返りシート(主体的、能動的に学習をすすめ、客観的に自身の学びを捉え、次に生かそうとしている)
- ④課題プリント・ワーク(感じたことを素直に表現し、丁寧に書けている)
- ⑤積極的に歌唱・器楽演奏ができています
- ⑥忘れ物なく授業準備ができています

【学習アドバイス】

- ①忘れ物はせず、授業準備をしっかりとしておく
- ②授業では積極的に歌唱・器楽練習に取り組む
- ③プリント教材の整理がきちんとする
- ④提出物は完成させて期日を守って出す
- ⑤集団行動に参加し、自己の表現をする

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（美術2・3年下） ・スケッチブック ・絵具セット ・配布プリント
------	--

【指導の重点】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

対話的な学習を増やし、学びが深まるような授業づくりを行う。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	オリエンテーション 鑑賞・表現 あの日を忘れない （平和を表現する）	題材の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・絵に込められた作者の訴えたいことなどに関心を持ち、造形的な美しさなどを感じ取り、社会における美術の力について考えるなどして、見方や感じ方を深める。 ・表したい主題に合うように版の特性を生かした表現効果を考え、材料や用具を工夫して版で表す。 主な学習内容 ○作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことをまとめる。 ○作者が作品を通じて訴えたいことは何なのか、時代や社会的背景なども視野に入れて作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考える。 ○対象から感じ取ったことや想像したことなどを基に、版の特徴を考えながら主題を生み出す。 ○主題を基に、版による表現の効果を工夫して構想を練る。 ○彫りや刷りを生かして、意図に応じて工夫して表す。
2	表現 自分へ贈る卒業記念品 （中学時代を表現する） 鑑賞 ルネサンスが目指したもの	題材の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・使う場面や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、形や色彩、材料の効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を追求して見通しを持ってデザインする。 主な学習内容 ○これまでの美術の授業で身に付けたことを生かして、使う場面や飾る場所を考えて主題を生み出す。 ○造形的な美しさなどを考えて構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かしながら見通しを持って創造的に表す。 ○自分や友達の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考え、話し合う。 題材の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスの表現の特徴や美しさ、時代背景などに関心を持ち、作者の意図と創造的な工夫、国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。 主な学習内容

		<p>○作品を通して、作者の生きた時代や社会的背景など、幅広い視点から捉えた作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考え発表し合う。</p> <p>○美に憧れる人間の普遍的な心情など、ルネサンスの美術や文化のよさや美しさなどについてまとめる。</p>
3	<p>表現 名画から学ぶ (模写)</p> <p>鑑賞 日本の世界文化遺産</p>	<p>題材の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩，構図や人物の描き方などから，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り，歴史に残る名画について理解や見方を深める。 <p>主な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○描かれている事物や人，構図や色づかいなど，事実として共通に認識できるものについて意見を出し合う。 ○描かれた人物の表情やしぐさ，構図，図法の応用の仕方などから作者の心情や意図と表現の工夫について意見を交換する。 <p>課題の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産や自然遺産，複合遺産などの伝統や文化は，それを受けつぐ人や保存と修復によって守られてきた。このような日本の世界文化遺産や伝統を知る。 <p>主な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本には，多くの世界遺産がある。私たちの暮らす地域に目を向け，地域に受けつがれた伝統や文化から伝わるものを感じ取る。

【評価対象】

- ・ 作品制作の技能
- ・ 作品の完成度
- ・ 作品制作の発想・構想・工夫
- ・ 定期テスト
- ・ 提出物の内容（授業プリント、スケッチブックの内容）
- ・ 授業に取り組む姿勢・態度

【学習アドバイス】

○いつもいろいろなことに興味を持ちましょう

*日ごろ何気なく見ているものや景色などで、『いいな』とか『きれいだな』と感じたことが作品作りに生きてきます。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（「新しい保健体育」東京書籍） ・ワーク（「保健体育ノート3年」新学社） ・体育実技書（「ワンダフルスポーツ」新学社）
------	---

【指導の重点】

- ・心身の健康保持・増進を目指し、体力づくりを推進すると共に生徒に 体育活動の必要性を理解させる指導を目指す。
- ・生涯スポーツの観点から、運動に親しむ姿勢や態度を養い、将来の生活の中に運動を取り入れてい こうとする意欲を持たせる指導を目指す。

【男子・年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	集団行動 体ほぐしの運動 体力を高める運動 【体づくり運動】 ゴール型 【球技】 （バスケットボール） 健康と環境 【保健】 文化としてのスポーツの意義 【体育理論】	基本的な集団行動を身につける。 心と体は互いに影響し、変化することに気付く。 健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図る。 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、ゴール前への侵入などから攻防をすること。 健康と環境について理解を深めること。 文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であることを学ぶ。
2	体の動きを高める運動 【体づくり運動】 現代的なリズムのダンス 【ダンス】 ベースボール型 【球技】 （ソフトボール） ネット型 （バレーボール） 健康な生活と病気の予防 【保健】 スポーツの文化的な役割 【体育理論】	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める。 リズムの特徴を捉え、変化とまとまりをつけてリズムに乗って全身で踊ること。 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 疾病・感染症・性感染症の予防について理解を深めること。 スポーツが国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを学ぶ。
3	体の動きを高める運動 【体づくり運動】 ゴール型 【球技】 （サッカー） 健康な生活と病気の予防 【保健】 スポーツの文化的な働き 【体育理論】	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める。 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、ゴール前への侵入などから攻防をすること。 保健・医療機関、医薬品についての理解を深めること。 スポーツが民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていることを学ぶ。

【女子・年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	集団行動 体ほぐしの運動 体力を高める運動 【体づくり運動】 ネット型 【球技】 （ソフトテニス）	基本的な集団行動を身につける。 心と体は互いに影響し、変化することに気付く。 健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図る。 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。

	健康と環境 文化としての スポーツの意義	【保健】 【体育理論】	健康と環境について理解を深めること。 文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であることを学ぶ。
2	体の動きを高める運動 現代的なリズムのダンス ベースボール型 (ソフトボール) ネット型 (バレーボール) 健康な生活と病気の予防 スポーツの文化的な役割	【体づくり運動】 【ダンス】 【球技】 【球技】 【保健】 【体育理論】	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める。 リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ること。 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 スポーツが国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを学ぶ。
3	体の動きを高める運動 ネット型 (バドミントン) 健康な生活と病気の予防 スポーツの文化的な働き	【体づくり運動】 【球技】 【保健】 【体育理論】	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める。 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 スポーツが民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていることを学ぶ。

【評価対象】

- ①授業準備、学習態度、発表や作業の様子 等
(意欲的に学習に取り組む、自分の考えをまとめる、主体的に授業に参加している)
- ②提出物の状況 (ノートやワーク、プリント、レポート、その他課題をきちんと完成させ、期日を守って提出している)
- ③振り返りシート (主体的、能動的に学習をすすめ、客観的に自身の学びを捉え、次に生かそうとしている)
- ④定期テスト
- ⑤授業準備、授業内容に取り組む様子 (意欲的に学習に取り組む、自分の考えをまとめる、主体的に授業に参加している)
- ⑥提出物の状況 (ノートやワーク、その他課題をきちんと完成させ、期日を守って提出している)
- ⑦定期テスト
- ⑧課題プリント・ワーク振り返りシート (主体的、能動的に学習をすすめ、客観的に自身の学びを捉え、次に生かそうとしている)

【学習アドバイス】

- ①授業における持ち物を忘れない。
- ②授業開始2分前には教室、体育館、またはグラウンドに集合する。
- ③「聞く力」を身につけ、授業中のルールを守り、誰もが安全で楽しめる授業作りに協力する。
- ④保健の授業では、板書を丁寧にするとともに、聞き取った内容も、ノートの空いている所に記入する。
- ⑤提出物は丁寧に仕上げ、必ず期限を守って提出する。
- ⑥分からないことがあれば積極的に質問する。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍「新編 新しい技術・家庭」 ・技術・家庭ノート（技術分野） ・プログラミング教材(Scratch)
------	--

【指導の重点】

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術とは何だろう ・情報のデジタル化 ・情報通信ネットワークの仕組み ・タッチタイピング(タイピング実技テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解する ・情報をデジタル化するときの最適な方法を考える ・情報通信ネットワーク上で情報を利用する仕組みを理解する ・タッチタイピングの技能を習得する
2	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に利用するための情報セキュリティ ・安全に利用するための情報モラル ・プログラミング実習① ・計測・制御システムとは何だろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応を身につける ・情報の特性を理解して、情報を安全に利用する ・プログラミングの方法を知る ・計測・制御システムの基本的な構成を理解する
3	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング実習② ・情報の技術の最適化 ・これからの情報の技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの方法を知る ・情報の技術の最適化について考える ・これからの情報の技術について考える

【評価対象】

- ・技術・家庭ノートの記入状況
- ・提出物（ノート等）の状況
- ・製作品の技能・工夫・完成度
- ・定期テスト

【学習アドバイス】

- ・学習のねらい(目標)や課題をしっかりとって授業に取り組む。
- ・学習内容に関心を持ち、進んで発言・発表に取り組む。
- ・自分の生活や作品について、自分なりに工夫をする。
- ・実習前の説明をしっかりと聞き、わからないことがあれば説明後に必ず質問する。
- ・作業では1つ1つの工程を丁寧に行う。
- ・提出物は期限を守って完成させ提出する。
- ・他の人の作品にも関心を持ち、お互いに評価しあう。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍「新しい技術家庭 家庭分野」 ・幼児のおもちゃ作り
------	---

【指導の重点】

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	私たちの成長と家族・地域 <ul style="list-style-type: none"> ・幼いころの振り返り ・幼児の体と心の発達 ・幼児の一日の生活 ・支えられて身につける生活習慣 ・幼児の生活と遊び ・おもちゃの製作実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の幼いころを振り返り、周囲の人との関わりをまとめる。 ・幼児の体と心の発達の特徴について考える。 ・幼児と中学生の一日の生活の違いを考える。 ・幼児の生活習慣の習得と家族の役割を考える。 ・幼児にとっての遊びの意義を考える ・幼児のことを考えて、幼児が喜ぶおもちゃを考える。
2	私たちの消費生活と環境 <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの消費生活 ・責任ある消費者になるために 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活を振り返り、自分に合った金銭の管理方法を考え、工夫する。 ・商品の選択と購入に必要な情報を集め、適切に選択できる。 ・契約や消費者トラブルの対応策、消費者の権利と責任について理解する。
3	生活の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとっての家族の役割を考える。 ・子どもの未来のために、持続可能な社会の構築を目指して、自分にできることを考える。 ・幼児の食生活の特徴を知り、幼児のおやつを製作する。

【評価対象】

<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト 小テスト 実技テスト 製作した作品 ・レポート 授業プリントなどの記述内容・自己評価 ・授業態度 発表や作業の取り組む様子
--

【学習アドバイス】

・授業に集中して、話はしっかり聞こう。扱いを間違えると危険なものがたくさんあります。指示をしっかりと理解して、安全に作業しよう。
 ・宿題や提出物の期限は守り、忘れ物がないようにしよう。
 ・学習したことから自分の課題を見つけ、日常生活の中でどんどん実践しよう。

使用教材	・NEW HORIZON English Course3
------	---------------------------------

【指導の重点】

- ・外国語を理解し、積極的に使う態度を育む。
- ・コミュニケーション活動、音読を通して、英語運用能力の基礎を培う。
- ・言語や文化に対する関心を深め、他文化・異文化理解の基礎を培う。
- ・CAN-DOリストを作成し、授業や評価の検証を行う。
- ・ICTを積極的に活用し、コミュニケーション活動能力の向上を目指す。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	Unit 0 受け身	これまでに学んだことを使って、世界で話されている言語について書かれたレポートの情報を読み取ったり、行ってみたい国とそこで話されている言語について伝えあって書いたりすることができる。
	Unit 1 現在完了形(経験用法), SVOC(C=形容詞),SVOO(that節)	これまでに経験したことに基づいて、相手に合ったプランを伝えることができる。
	Unit 2 現在完了形(継続用法,完了・継続用法) 現在完了進行形	ずっと好きなことや、これまでに取り組んできたことについて伝え合うことができる。
	Unit3 It is ... <for+人など> +to, want+ (人など)+to, let+(人など)+動詞の原形	自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。
2	Unit 4 間接疑問文, SVOO(what節), 現在分詞, 過去分詞	標識が何を意味しているかを説明することができる。
	Unit 5 名詞を修飾する文(接触節), 関係代名詞 who, 関係代名詞that which(主格・目的格)	人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。
3	Unit 6 仮定法 既習事項の総復習	架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。 これまで学習してきたことを復習し、長文を理解したり、問いに答えたりすることができる。

【評価対象】

- ①授業準備、授業に取り組む様子(積極的に声を出し、練習している。主体的に授業に参加している。)
- ②提出部の状況(ノートやワーク、プリント、その他の課題をきちんと完成させ、期日を守って提出している)
- ③定期テスト、小テスト、スピーキングテスト等

【学習アドバイス】

- ①授業準備をしっかりとし、忘れものはしない。
- ②授業では間違いを恐れず、積極的に発言・発表をする。
- ③ノートやプリントは書き漏らすことなく、ていねいに取り組む。
- ④提出物は指示をよく聞いてていねいに取り組み、期日を守って出す。
- ⑤授業までにしっかりと予習（新出単語の意味調べや本文を写すなど）を行い、授業に参加する。
- ⑥学習した内容は、音読やワーク、ノートを活用し、繰り返し復習する。
- ⑦毎回の授業を大切に、授業中に行うすべての活動に積極的に取り組む。